# 2018年度第1四半期決算説明会



2018年7月27日

# 1. 2018年度第1四半期決算実績概要



## 2018年度1Q実績(連結)(2018.4.1 - 2018.6.30) <対前年同期実績>



(単付:億円)

#### ポイント:減収増益

( ➡ ➡ .+/ ▲ は利益に対する影響を示す, 億円)

**売上高** ▲27 : **一** ガス (▲131 : 都市ガス販売量減▲362、原料費調整による単価増+188、LNG販売増 等)

土 電力 (+79 : 小売販売量増 等)

+ エネルギー関連 (+66 :エンジニアリングソリューション+53、ガス器具+21、ガスエ事+7 等)

営業費用 ▲87 ■ 電力 (▲86 : 小売販売量増による費用増等)

エネルギー関連 (▲50 : エンジニアリングソリューション▲46 等)

営業利益 ▲114 \_ ガス (▲120:高気温影響・発電専用数量減等による都市ガス販売量減▲124等)

+ 海外 (+29 : 上流プロジェクト利益増等)

**特別損益** +259 <u>+</u> 当期 +291 : 固定資産売却益+291

前期 +32 : 固定資産売却益+32

	2018年度1Q	2017年度1Q	増減	%
都市ガス販売量 (百万m³, 45MJ)	3,145	3,710	<b>▲</b> 565	<b>▲</b> 15.2%
電力販売量(百万kWh)	3,257	3,372	<b>▲</b> 115	▲3.4%
(内訳) 小売(百万kWh、需要端)	1,136	785	+351	+44.9%
卸他(百万kWh)	2,120	2,587	<b>▲</b> 467	<b>▲</b> 18.1%
売上高	4,014	4,041	▲27	▲0.7%
営業費用	3,781	3,694	+87	+2.4%
営業利益	232	346	<b>▲</b> 114	▲32.9%
セグメント利益(営業利益+持分法損益)	237	351	<b>▲</b> 114	▲32.4%
経常利益 …①	240	358	<b>▲</b> 118	▲33.0%
特別損益	291	32	+259	_
親会社株式に帰属する当期純利益	377	278	+99	+35.4%

	<i>気温影響</i>	···2	<b>▲</b> 51	<b>▲</b> 13	<b>▲</b> 38	_
(補正項目)	スライドタイムラグ	··· <b>③</b>	<b>▲</b> 122	<b>▲</b> 122	0	_
(栅上均日)	(都市ガス+LNG販売)		$(\blacktriangle 111 + \blacktriangle 11)$	$(\blacktriangle 111 + \blacktriangle 11)$	$(\pm 0 + \pm 0)$	
	年金数理差異償却額	··· <b>4</b>	<b>▲</b> 11	19	<b>▲</b> 30	_
補正経常利益	<del>益</del>	···①-(②+③+④)	424	474	<b>▲</b> 50	<b>▲</b> 10.5%

経済フレーム	為替レート(¥/\$)   原油価格(\$/bbl)		平均気温(℃)	
18年度1Q	109.10 (▲1.99)	70.53 (+17.19)	17.9 (+1.2)	
17年度1Q	111.09	53.34	16.7	

()内は対前年同期増減

年金	運用利回り ※コスト控除後	期末資産 (億円)
18年度1Q累計	-0.06%	2,690

期待運用収益率: 2%

## 2018年度1Q実績(連結) ガス販売量・件数、電力販売量・件数<対前年同期実績>

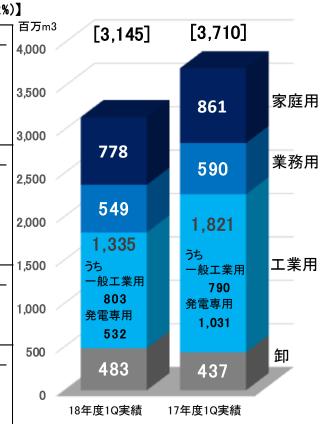
## 都市ガス販売量

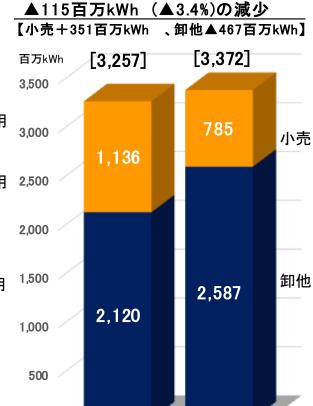
#### 電力販売量

# ▲565百万m3 (▲15.2%)の減少

	( <b>A</b> 13.2/	0/U/ <i>IIII</i>
【うち気温影響▲	.81百万m3	(▲2.2%)]

	(A2.2
■家庭用 ▲8	33 百万m³ (▲9.6%)
•気温要因	▲63 百万m³
•日数影響	▲1 百万m³
・お客さま件数	▲9 百万m³
•その他	▲10 百万m <sup>3</sup>
■業務用 ▲4	I1 百万m³ (▲7.0%)
•気温要因	▲15 百万m³
•日数影響	▲0 百万m³
・お客さま件数	▲11 百万m³
•その他	▲14 百万m³
■工業用 ▲48	86 百万m <sup>3</sup> (▲26.7%)
•一般工業用	+13 百万m³
•発電専用	▲499 百万m <sup>3</sup>
■卸 +4	16 百万m³(+10.5%)
•気温要因	▲3 百万m <sup>3</sup>
•その他	+49 百万m <sup>3</sup>





## 件数(都市ガス・電力)、LNG販売量、平均気温

	2018年度1Q実績	2017年度1Q実績	増減
〈都市ガス〉お客さま件数(万件)	1,170.2	1,155.3	+14.9 (+1.3%)
〈電力〉小売件数(万件)	127.2	77.6	+49.6 (+63.9%)
LNG販売量(千t)	225	235	<b>▲</b> 10 ( <b>▲</b> 4.3%)
平均気温(℃)	17.9	16.7	+1.2

※〈都市ガス〉お客さま件数=取付メーター数

18年度1Q実績

※〈電力〉小売件数=供給中件数

※各項目は四捨五入して表示

17年度1Q実績

TOKYO GAS

## 2018年度1Q実績 ビジョンベースガス販売量 <対前年同期実績>



## ■ ビジョンベースガス販売量(単位:百万m³)

	18年度1Q実績	17年度1Q実績	増減
都市ガス販売量	3,145	3,710	<b>▲</b> 565
(財務会計数値)	3,143	3,710	▲15.2%
トーリングによる	ングによる 424		▲62
ガス自家使用量	424	486	<b>▲</b> 12.7%
LNG販売量	202	204	<b>▲</b> 12
(m³換算)	282	282 294	
△≒	0.051		▲640
合計	3,851	4,491	<b>▲</b> 14.2%

## 2018年度1Q実績 セグメント別売上高・セグメント利益 <対前年同期実績>

#### 2018年度から一部セグメント変更(※)



		売上高				セグメント利益(営業利益+持分法損益)				
	2018年度	2017年	度1Q	154 5=8	0/	2018年度	2017年度1Q		1 <del>44</del> <del>/-1</del> 4	
	1Q	移行後	移行前	増減	%	1Q	移行後	移行前	増減	%
ガス	2,907	3,038	2,717	<b>▲</b> 131	<b>▲</b> 4.3	240	360	358	<b>▲</b> 120	▲33.4
(LNG販売)	306	215	215	91	41.8	0	<b>▲</b> 1	▲1	1	_
電力	531	452	452	79	17.4	23	30	30	<b>▲</b> 7	▲23.8
海外	121	117	117	4	3.9	47	19	19	28	141.8
(持分法損益)	_	_	_	_	_	3	4	4	<b>▲</b> 1	▲26.4
エネルギー関連	743	677	975	66	9.8	26	10	11	16	147.2
(エンシ゛ニアリンク゛ソリューション)	293	240	240	53	21.7	5	0	0	5	_
<b>不動産</b> (持分法損益含む)	110	104	104	6	5.5	24	22	22	2	6.4
その他(持分法損益含む)	203	175	196	28	15.6	1	0	1	1	46.3
調整額	▲603	<b>▲</b> 525	<b>▲</b> 523	<b>▲</b> 78	_	▲125	<b>▲</b> 94	<b>▲</b> 94	▲31	_
セグメント合計	4,014	4,041	4,041	▲27	▲0.7	237	351	351	<b>▲</b> 114	▲32.4
(持分法損益)	_	_	_	_	_	4	4	4	0	6.1

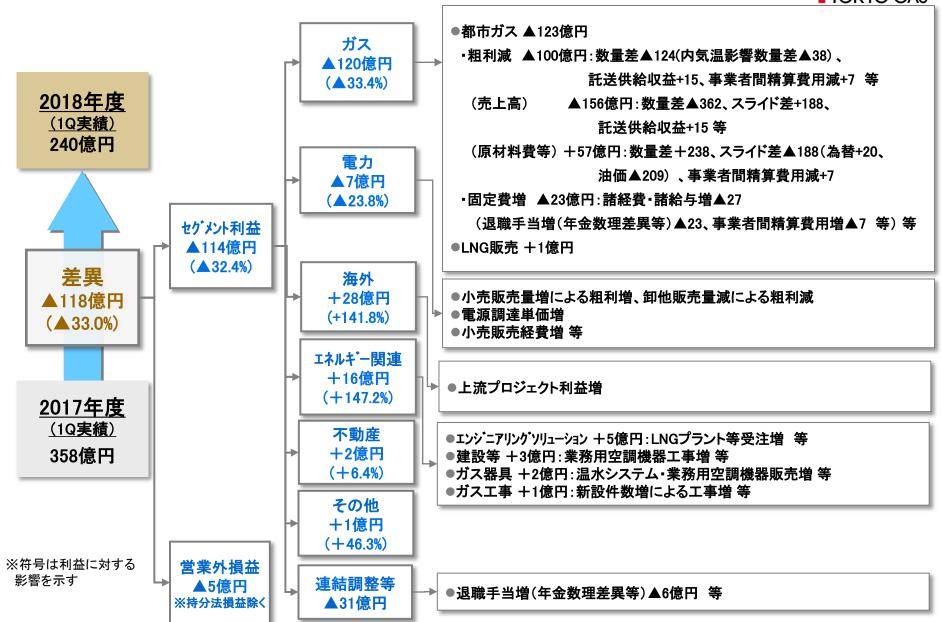
注記

- セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
- ・「ガス」の「LNG販売」の売上高は、ガスセグメント内の内部取引を含んでおります。
- ・「ガス」には、都市ガス、液化石油ガス、産業ガス、LNG販売等を含みます。「エネルギー関連」には、エンジニアリングソリューションガス器具、ガス工事、建設、クレジット等を含みます。「その他」には、船舶、情報処理サービス、リース等を含みます。
- セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。
- ※ 2018年度のセグメント変更の内容は以下のとおり

(「エネルギー関連」セグメントに含まれていたリキッドガス事業(液化石油ガス、産業ガス)、LNG販売等を「ガス」セグメントに、「その他」セグメントに含まれていたクレジットを「エネルギー関連」セグメントに、それぞれ移管)

## 2018年度1Q実績 経常利益分析 <対前年同期実績>





# 2. 2018年度 通期見通し



見通しは前回見通し(2017年度決算発表時)から変更なし

## 2018年度見通し(連結)(2018.4.1 - 2019.3.31) <対前年度実績>

**TOKYO GAS** ( + - .+/▲は利益に対する影響を示す. 億円)

ポイント: 増収増益 ※見通しは前回見通しから変更なし

+1.767: + ガス

(+955 : 原料費調整に伴う単価増 等)

+ 電力

(+497 :

:小売の件数増等による販売量増 等)

┡ エネルギー関連 (+227

: エンシ゛ニアリンク゛ソリューション+203、器具・工事+83 等)

営業費用 ▲2,000:

- ガス

(▲1,117:フレーム影響等に伴う単価増、年金数理差異・減価償却費増等)

1 雷力

(▲471:小売件数増による数量増等)

営業利益

▲233: - ガス

(▲162 :年3

:年金数理差異・減価償却費増 等)

エネルギー関連 (▲60

特別損益

売上高

+259:

: 器具・工事▲38、エンジニアリングソリューション▲8 等)

当期 291:固定資産売却益+291 前期 32:固定資産売却益+34、投資有価証券売却益+30、減損損失▲32

(単位:億円)

	見通し	<b>前回見通し</b> (4/27)	増減	%	前年度実績	増減	%
都市ガス販売量(百万m <sup>3</sup> , 45MJ)	15,542	15,542	±0	±0.0%	15,568	<b>▲</b> 26	▲0.2%
電力販売量(百万kWh)	15,128	15,128	±0	±0.0%	14,656	+472	+3.2%
	19,540	19,540	±0	±0.0%	17,773	+1,767	+9.9%
_営業費用	18,610	18,610	±0	±0.0%	16,610	+2,000	+12.0%
_営業利益	930	930	±0	±0.0%	1,163	▲233	▲20.0%
セグメント利益(営業利益+持分法損益)	972	972	±0	±0.0%	1,187	<b>▲</b> 215	<b>▲</b> 18.2%
<b>経常利益</b> ····①	930	930	±0	±0.0%	1,115	<b>▲</b> 185	<b>▲</b> 16.6%
_特別損益	291	291	±0	_	32	+259	_
親会社株式に帰属する当期純利益	880	880	±0	±0.0%	749	+131	+17.4%

	<i>気温影響</i>	2	0	0	±0	_	39	<b>▲</b> 39	_
補正	スライドタイムラグ	3	<b>▲</b> 113	<b>▲</b> 113	±0	_	<b>▲</b> 230	+117	_
項目	(都市ガス+LNG販売)		$(\blacktriangle 109 + \blacktriangle 4)$	<i>(</i> <b>△</b> 109 + <b>△</b> 4 <i>)</i>	$(\pm 0 + \pm 0)$		( <b>△</b> 203 + <b>△</b> 27)	(+94 + +23)	
	年金数理差異償却額	<i>…</i> <b>④</b>	<b>▲</b> 46	<b>▲</b> 46	±0	_	77	<b>▲</b> 123	_
補正;	経常利益	(1)-(2+3+4)	1,090	1,090	±0	±0.0%	1,229	<b>▲</b> 139	<b>▲</b> 11.3%

経済フレーム	為替レート(¥/\$)		原油価格	(\$/bbl)	平均気温(℃)			
今回見通し	110.00	$(\pm 0.00)$	65.00	$(\pm 0.00)$	15.9	$(\pm 0.0)$		
前回見通し	110.00	(▲0.85)	65.00	(+7.97)	15.9	(+0.2)		
前年度実績	110.85		57.03		15.7			
( )内は前回見通し・前年度実績との増減								

年金	運用利回り	割引率		期末資産
<u>+ = = = = = = = = = = = = = = = = = = =</u>	※コスト控除後	年金分	一時金	(億円)
2017年度	1.03%	0.293%	0.046%	2,710
2016年度	1.57%	0.389%	0.055%	2,770
2015年度	2.92%	0.236%	0.000%	2,810

## 2018年度見通し(連結) ガス販売量・件数、電力販売量・件数



#### 都市ガス販売量 見通し・前年度実績

## 電力販売量 見通し・前年度実績

見通しは前回見通し(4/27)から 変更なし ▲26百万m3 (▲0.2%)の減少 【うち気温影響+64百万m3 (▲0.4%)】 見通しは前回見通し(4/27)から変更なし 対前年度実績 +472百万kWh (+3.2%)の増加

■家庭用 ▲121 百万m³(▲3.4%) ■その他 +95 百万m³(+0.8%)

百万kWh 16.000 都市ガス販売量: [15.542] [15.568] [15,542] 百万m3 12.000 16,000 家庭用 3.449 3,449 3.570 8.000 12,000 業務用 2.722 4.000 7.290 工業用 8.000 [11,998] 12,093 12,093 -般工業用

3,358

3.932

1.985

発電専用



#### 件数(都市ガス・電力)、LNG販売量、平均気温

前年度実績

卸

前年度 前回 増減 増減 見通し 見通し 実績 1.181.2 +13.4 (+1.1%) 〈都市ガス〉お客さま件数(万件) 1.181.2  $\pm 0.0 (\pm 0.0\%)$ 1.167.8 158.0 〈電カ〉小売件数(万件) 113.0 158.0  $\pm 0.0 (\pm 0.0\%)$ +45.0 (+39.8%)LNG販売量(千t) 1,075  $\pm 0 \ (\pm 0.0\%)$ 1,150 **▲**75.0 (**▲**6.5%) 1,075 平均気温(℃) 15.9 15.9  $\pm 0.0$ 15.7 +0.2

※〈都市ガス〉お客さま件数=取付メーター数

※〈電力〉小売件数=供給中件数

前回見通し

2018年度見通し

4.000

## 2018年度見通し ビジョンベースガス販売量 <対前回見通し(4/27)・前年度実績>



## ■ ビジョンベースガス販売量(単位:百万m³)

	見通し	前回見通し (4/27)	増減	前年度 実績	増減
都市ガス販売量	15,542	15 5 4 0	±0	15 560	▲26
(財務会計数値)	10,042	15,542	±0.0%	15,568	▲0.2%
トーリングによる	1 000	1,923 -	±0	0.047	▲124
ガス自家使用量	1,923		±0.0%	2,047	▲6.1%
LNG販売量	1,344	1,344	±0	1,437	▲93
(m³換算)			±0.0%		<b>▲</b> 6.5%
<b>∧</b> =1	10,000		±0		▲243
合計	18,809	18,809	±0.0%	19,052	<b>▲</b> 1.3%

## 2018年度見通しセグメント別売上高・セグメント利益 〈対前年度実績〉

# TOKYO GAS (単位:億円)

#### 2018年度から一部セグメント変更(※)

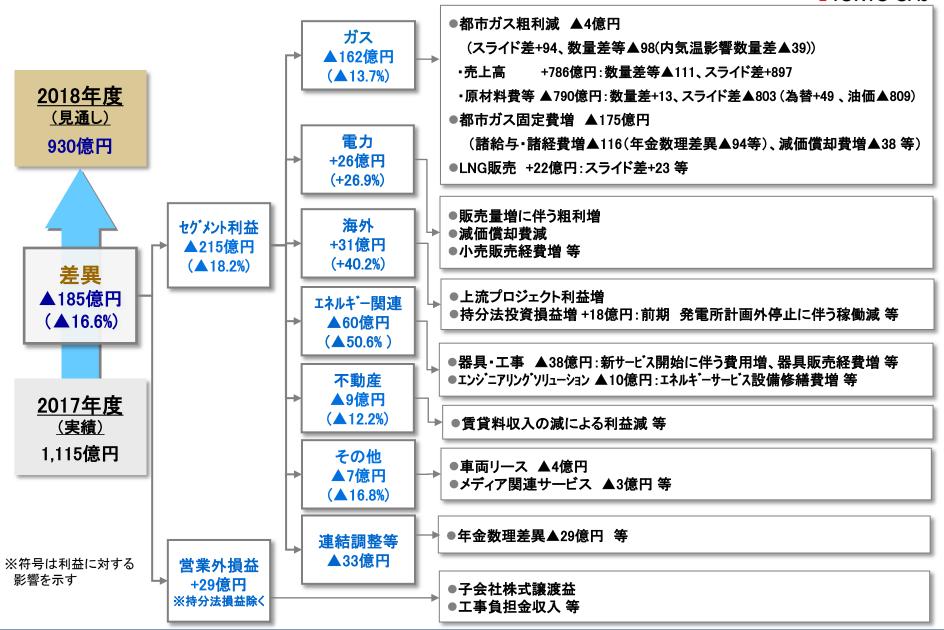
		売上高				セグメント利益(営業利益+持分法損益)				益)
	日本	前年度	<b>E実績</b>	1#4 %=1%	04	日本	前年度	医実績	## <b>;</b> =#:	04
	見通し	移行後	移行前	増減	%	見通し	移行後	移行前	増減	%
ガス	14,003	13,048	11,488	955	7.3	1,028	1,190	1,166	<b>▲</b> 162	<b>▲</b> 13.7
(LNG販売)	1,879	1,088	1,088	791	72.8	28	6	6	22	336.7
電力	2,683	2,186	2,186	497	22.7	122	96	96	26	26.9
海外	460	415	415	45	10.7	108	77	77	31	40.2
(持分法損益)		_		1	1	42	24	24	18	69.4
エネルギー関連	3,563	3,336	4,808	227	6.8	59	119	137	<b>▲</b> 60	▲50.6
(エンシ゛ニアリンク゛ソリューション)	1,384	1,181	1,181	203	17.1	27	35	35	▲8	<b>▲</b> 24.0
不動産(持分法損益含む)	426	423	423	3	0.6	70	79	79	<b>4</b> 9	▲12.2
その他(持分法損益含む)	1,011	850	927	161	18.9	36	43	49	<b>▲</b> 7	▲16.8
調整額	<b>▲</b> 2,606	▲2,487	<b>▲</b> 2,476	<b>▲</b> 119		<b>▲</b> 451	<b>▲</b> 418	<b>▲</b> 418	▲33	_
セグメント合計	19,540	17,773	17,773	1,767	9.9	972	1,187	1,187	▲215	▲18.2
(持分法損益)	_	_	_	_	_	42	24	24	18	68.5

注記

- ・ セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
- ・「ガス」の「LNG販売」の売上高は、ガスセグメント内の内部取引を含んでおります。
- ・「ガス」には、都市ガス、液化石油ガス、産業ガス、LNG販売等を含みます。「エネルギー関連」には、エンジニアリングソリューション、ガス器具、ガス工事、建設、クレジット等を含みます。「その他」には、船舶、情報処理サービス、リース等を含みます。
- セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。
- ※ 2018年度のセグメント変更の内容は以下のとおり

(「エネルギー関連」セグメントに含まれていたリキッドガス事業(液化石油ガス、産業ガス)、LNG販売等を「ガス」セグメントに、「その他」セグメントに含まれていたクレジットを「エネルギー関連」セグメントに、それぞれ移管)





## 2018年度見通し(連結) キャッシュフローの使途 (設備投資、投融資)



(単位:億円)

		見通し	主な件名	前年度 実績	増減	<u>华世·愿门</u>
	ガス	1,762	製造設備 219(+ 50) : 日立LNG基地拡張 等 供給設備 1,092(+153) : 茨城幹線建設 需要開発 等 業務設備等 450(+162) :システム関連 等	1,397	+365	+26.1%
設	電力	52	発電効率改善工事 等	17	+35	+205.9%
備	海外	89	上流(豪州、北米)	71	+18	+25.4%
投資	エネルギー関連	252	TGES エネルギーサービス事業 等	235	+17	+7.2%
	不動産	428	田町 等	320	+108	+33.8%
	その他	90	船舶 等	76	+14	+18.4%
	調整額	<b>▲</b> 55		▲30	▲25	_
	計	2,620		2,087	+533	+25.5%
投幕	触資	734	投融資817(海外含む)、回収▲82	470	+264	_
設位	<b>備投資・投融資</b> 合計	3,354		2,557	+797	+31.2%



(単位:億円)

	2018年度 見通し	2017年度 実績	2016年度 実績
総資産 (a)	24,660	23,343	22,302
自己資本 (b)	11,710	11,360	11,014
自己資本比率 (b)/(a)	47.5%	48.7%	49.4%
有利子負債(c)	8,320	7,249	7,135
D/Eレシオ (c)/(b)	0.71	0.64	0.65
親会社株主に帰属する当期純利益 (d)	880	749	531
減価償却(e)	1,670	1,653	1,643
営業キャッシュフロー (d) + (e)	2,550	2,403	2,174
設備投資(Capex)	2,620	2,087	2,033
ROA (d) / (a)	3.7%	3.3%	2.4%
ROE (d) / (b)	7.6%	6.7%	4.8%
TEP	94	244	▲62
WACC	3.1%	3.1%	3.0%
総分配性向	60%程度	60.2%	60.7%

注 自己資本 = 純資産 - 非支配株主持分

ROA= 純利益/総資産(期首·期末平均)

ROE = 純利益/自己資本 (期首·期末平均)

BS関連数値は各期末時点の数値

営業キャッシュフロー = 純利益 + 減価償却(長期前払費用償却含む)

総分配性向 = [N年度の配当 + (N+1)年度の自社株取得]/N年度の連結純利益

■TEP(Tokyo Gas Economic Profit)について

TEP=NOPAT-資本コスト(投下資本×WACC)

- •株主資本=時価総額
- ・WACC算定諸元(2018年度見通し)
- a)有利子負債コスト 実績金利1.04%(税引後)
- b)株主資本コスト率
- c)リスクフリーレート 10年国債利回0.05%
- d)マーケットリスクプレミアム5.5%、β 値0.75

# 3. 参考資料





## 原油価格JCCが \$1/bbl 上昇する場合

(単位:億円)

		収支影響時期				
		第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計	
亦	第2四半期	▲2	<b>A</b> 6	+8	0	
変動	第3四半期	_	▲2	▲8	<b>▲</b> 10	
時期	第4四半期	_	_	▲3	▲3	
	通期	▲2	▲8	▲3	<b>▲</b> 13	

## 円ドルレートが ¥1/\$ 円安になる場合

(単位:億円)

			収支影響時期				
		第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計		
李	第2四半期	<b>▲</b> 6	+6	+2	+2		
変動	第3四半期	_	▲8	+8	0		
時期	第4四半期	_	_	<b>▲</b> 10	<b>▲</b> 10		
	通期	<b>A</b> 6	<b>^</b> 2	0	▲8		

## 2018年度 主なトピックス(7月27日まで、プレスリリースより抜粋)



ガス(G) 電力(P)	・「日立LNG基地 2号LNGタンク」の建設工事着手について(4/3) ・米国メリーランド州コーブポイントLNGプロジェクトが商業運転を開始、合わせて3社が現地の天然ガス液化プラントを訪問(4/16) ・東京ガスの電気120万件突破!東京ガスグループの総合エネルギーサービスプラン「ずっともプラン」の更なる拡充について(5/10) ・日本瓦斯真岡地区向け東京ガスグループの総合エネルギーサービスプラン「ずっともプラン」について(5/11) ・コーブポイントLNGプロジェクトからの液化天然ガス受け入れ~日本初、米国シェールガス由来の長期契約LNG受け入れ~(5/21) ・再生可能エネルギー発電事業に関する基本合意書の締結および太陽光発電所運営会社の出資持分譲渡について(5/28) ・太陽光発電事業に関する協力協定書の締結について(6/1) ・「コーブポイントLNG受入記念式典」の開催について(6/6) ・家庭用燃料電池「エネファーム」累計販売台数10万台を達成(6/8) ・モザンビーク・LNGプロジェクトからの液化天然ガス(LNG)共同調達について(6/15) ・大阪府北部を震源とする地震に対する応援隊の派遣について(6/19) ・非化石証書を用いた再生可能エネルギー(FIT)電気の購入について~東京ガスグループとして初めての購入~(7/2) ・LPガスの充てん・配送会社「ガスクル株式会社」の発足について(7/10)※
	・新居浜LNG株式会社の設立について(4/2) *

サービス(S)

- ・msb Tamachi(ムスブ田町)において、田町スマートエネルギーセンター第二プラントを竣工し、熱と電気の供給を開始(5/8) \*
- ・「(仮称)豊玉賃貸住宅」新築工事の着工について(5/9)★
- ・賃貸住宅2物件の取得について(6/29)★

デジタル イノベーション

・「WSN-IoT AWARD 2018最優秀賞」の受賞について(5/24)

ESG

- ・FC東京ホームゲームにおけるカーボン・オフセットの実施について(4/23)
- ・「環境月間」の取り組みについて ~持続可能な社会の実現を目指して~(5/24)
- ・環境省が推進する「クールシェア」への参加について ~5施設を「クールシェアスポット」に登録~(6/20)
- ・第89回都市対抗野球大会のカーボン・オフセットへの協力について(7/9)
- ・東京2020パラリンピック競技大会まであと2年!東京ガス主催、パラリンピックの競技を知って楽しむ参加型イベントをこの夏実施「もっと知ろう!東京2020パラリンピック全22競技大集合!(7/12)

財務•株主還元

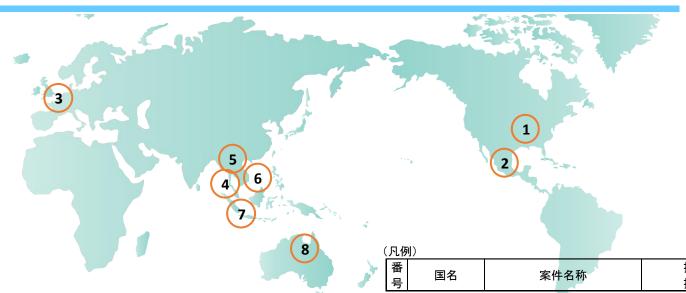
- 業績予想の修正に関するお知らせ(4/20)
- 自己株式取得に係る事項の決定(4/27)、取得完了(6/18)、自己株式の消却(6/28)
- ・「社会的価値・資本創出型M&Aアワード」の大賞受賞について(6/12)
- |・第44回、第45回、第46回無担保社債発行のお知らせ(7/13)

カッコ内はプレスリリース日、\* 東京ガスエンジニアリングソリューションズによるリリース、★東京ガス不動産ホールディングスによるリリース

※東京ガスリキッドホールディングスによるリリース

## 主な投資案件(海外) (2004年度以降)





■東南ス	アジア
------	-----

4	マレーシア	ガスマレーシア エネルギーアドバンス	中下流 エネルギーサービス	2014
( <del>5</del> )	タイ	バンボー発電所	中下流 天然ガス発電	2016
3	31	カ゛ルフ・ダブ゛ルエイチエー・エムティー・天然 カ゛ス配給会社への出資	中下流ガス配給	2018
6	ベトナム	ペトロベトナム低圧ガス販売㈱への出資	中下流 導管・CNG供給	2017
7	インドネシア	センカン	上流 天然ガス生産・液化・販売	2010
	インドネシテ	パンジ・ラヤ・アラミンド社への出 資	中下流 ガス配給・輸送	2017

#### ■オセアニア

		プルート	上流 天然ガス生産·液化·販売	2008
0		ゴーゴン	上流 天然ガス生産・液化・販売	2009
⑧ オーストラ	オーストラリア	クイーンズランド・カーティス	上流 天然ガス生産・液化・販売	2011
		イクシス	上流 天然ガス生産・液化・販売	2012

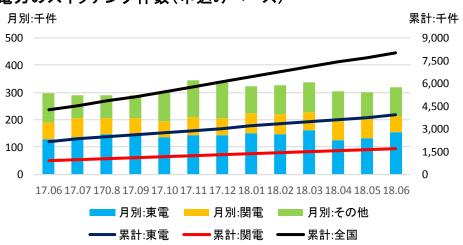
番号	国名	案件名称	投資分野 投資内容	参加年
■北	■北米			
		バーネット	上流 シェールガス	2013
		イーグルフォード	上流 シェールガス	2016
		東テキサス	上流 シェールガス	2017
1	米国	TGESアメリカ	中下流 エネルギーサービス	2015
		エンパイア	中下流 天然ガス発電	2016
		バーズボロー	中下流 天然ガス発電	2017
		アカリオベンチャーズ	その他 オープンイノベーション	2017
2	メキシコ	バヒオ	中下流 天然ガス発電	2004
	メイシコ	MTファルコン	中下流 天然ガス発電	2010
■欧	州			<u> </u>
3	ベルギー	Tパワー	中下流 天然ガス発電	2012

#### 都市ガス・電力スイッチング件数の推移、当社の電力小売獲得の推移



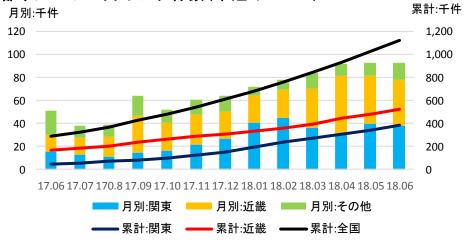
#### 都市ガス・電力のスイッチング件数

#### ■電力のスイッチング件数(申込みベース)



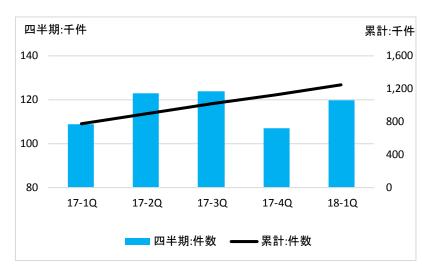
\*電力広域的運営推進機関の公表値に基づく

#### ■都市ガスのスイッチング件数(申込みベース)



#### \* 資源エネルギー庁の公表値に基づく

#### 当社の電力小売獲得件数



# TOKYO GAS

#### く見诵しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価格の動向、気温の変動、円ドルの為替レート変動、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東京ガスの対応等があります。

TSE:9531